

2017年10月30日

## 呼吸器外科に、過去に通院・入院された患者さんへ

### (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 呼吸器外科手術における気管支断端瘻生リスクに関する研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部附属病院 呼吸器外科 講師 呉哲彦

この研究は明和病院呼吸器外科を主幹機関とした多施設共同研究として、当学の情報を提供して行います。

#### [研究の目的]

呼吸器外科で日常的に行われている肺がんの手術である「肺葉切除」や「肺全摘除」の偶発症に気管支断端瘻というものがあります。発生頻度はそこまで多いものではありませんが、命に関わる偶発症です。この研究は、診療録よりどのような患者さんがこの偶発症になるリスクが高いか、また有効な予防法は存在するかを解明することを目的とします。

#### [研究の方法]

##### ○対象となる患者さん

平成11年4月1日から平成27年8月31日の間に香川大学医学部附属病院呼吸器外科で肺がんに対する根治手術で肺葉切除または肺全摘除を受けた方

##### ○利用する検体・診療情報

診療情報：性別、年齢（手術時）、既往症、組織型、左右（所属肺葉）、術式、術前療法、断端補強、断端瘻発生の有無

#### [外部への検体・診療情報の提供]

利用する診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、明和病院呼吸器外科へ提供します。

#### [研究組織]

(研究代表者)

明和病院 呼吸器外科

奥田昌也

(共同研究機関) 情報の提供のみ

香川大学医学部附属病院 呼吸器外科 呉哲彦

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院呼吸器外科 担当医師 吳哲彦

電話 087-891-2191 (直通) FAX 087-891-2192